



# 学校だより

4月号

横浜市立大道小学校  
平成30年4月5日

学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

検索

校長 富岡 正雄

春爛漫、お子様の御入学・御進級おめでとうございます。

一年生69名を迎え、全校児童は376名となりました。子どもたちは、新しい学年・新しい教室・新しい友だちなど、環境が変わる中、緊張と共に大きな希望とやる気をいただきスタートしたことでしょう。

新たな出発に際し、教職員30名は、**本校学校教育目標【いきいき学び、輝く大道っ子】**の実現に向けて、大きな意識をもって、子どもたちに寄り添い、指導をまいります。

## <万葉集 巻9の1791 遣唐使随員の母>より

旅人の 宿りせむ野に 霜降らば  
我(あ)が子 **羽(は)くくめ** 天(あめ)の鶴群(たずむら)

この歌は、733年、多治比広成(たじひのひろなり)を大使とする遣唐使一行の船に乗った最愛の一人息子の安全を願ったものです。当時、渡唐使の船は、しばしば難破し、確実な生還は期しがたいものでした。この歌の意味は、次の通りです。

旅の途中、あの子の宿するところに霜が降ったら、どうか空飛ぶ鶴の群れよ私の息子をその暖かい羽で包んでやっておくれ。

この歌の中に、**羽(は)くくめ**という言葉が出てきます。

- 「(はくくむ)育む」の語源は、「羽くむ(はくむ)」
- 「くくむ」は、「包む(つつむ)」の古語で、親鳥が羽でひなを包む姿に由来し、大切に、優しく育てる意味として使われます。

## 大切にしたい「子育て四訓」の考え方

### <子育て四訓>

「乳児はしっかり肌を離すな」  
「幼児は肌を離せ、手を離すな」  
「少年は手を離せ、目を離すな」  
「青年は目を離せ、心を離すな」

「育む」の語源のように、子どもたちを「つつむように優しく育てること」は、もちろん大切ですが、同時に、【子どもたちとの距離間を考えながら育む】ことも大切にしていきたいことだと思います。

「少年は手を離せ、目を離すな」のように、【**離すことと離さないこと**】を意識しながら接していくことの大切さを改めて感じます。

子どもたちの周りで支援する私たちは、子どもたちの思いや願いを大切にしながら、その成長を見つめ、豊かな愛情をもって、いろいろな場面で、**距離間を意識しながら【育む】行動**をしていきたいものです。

新年度スタートにあたり、一人ひとりの成長がとても楽しみです。

今年度も本校の教育活動に対する御理解・御協力をよろしくお願いいたします。